

第2章 合併から今日まで

歴代区長、自治会長及び世相

町内

昭和29年度 小池 利二



この年の世帯数は126戸でした。町内に消毒班が編成されていて、交替で消毒をしていたのですが、この年から市の機械を借りて

実施するようになりました。

納税組合が結成されたのもこの年で、奨励金で区費（後の自治会費）が大変助かったものです。このころ運動会は土のう運びなど重労働の競技があったものです。

この年、広瀬川の西の（現在の中荒牧）耕地整理も行われました。

また、市への合併にともない村会議員から野田、鯨井、神田の3氏が市議会議員に入りました。

昭和30年度 小池 鷲平

この年、他村掛といって荒牧に耕地を持っている人から徴収していた区費を廃止しました。また、この年に荒牧と日輪寺、川端を合

世相

○皇居参賀に38万人が押しかけ、二重橋で大混乱をおこし、死者16人という惨事となった。

○第五福竜丸がアメリカ水爆実験により放射能被災し、「水爆マグロ」の恐怖が広がった。

○マリリン・モンローが来日し、モンロー旋風をまき起こした。

○ヘップバーンスタイルが大流行した。

○パチンコの最盛期となった。

○7月、保安隊が自衛隊と改称され、吉田首相は「戦力なき軍隊」と説明した。

○この年「高原列車は行く」、「お富さん」、「岸壁の母」などの流行歌がヒットした。

○映画は24の瞳、女の園、などがヒットした。

○ソニーがトランジスターラジオを発売した。

○テレビ、洗濯機、ミキサー、電気コタツ等

めて前橋90区と呼ぶことになりました。

婦人会の記録にも出てきますが、婦人会主催で指圧指導などが行われています。



さらに、この年に合併後初の市議会議員選挙があり、鯨井好一氏が当選しております。

昭和31年度

養田隆次郎



昭和31年。前橋に合併して3年目、合併に反対を称えて来た私だけに地域差への意識は強かったろう。或る先輩は言った。例えば荒

牧町が千円納税したら、市より二千元持って来いと。其の言葉に強く感銘し脳裡を離れなかった。当時は自治会長を区長と言った。なお町単位でなく、荒牧、日輪寺、川端、各町を合わせて第90区と称し荒牧がその代表であった。時に世帯数153戸、組長12名と覚えている。そして常使と言って番板が廻り当番の者は毎朝区長宅を訪れ区の業務を伝達した。この年は規約の改正があり（区長は前年度の副が就任する）と言う今の規約になったのだ。又市民運動会のリレーに各区長が走ったのが忘れられない、当時の区長は、体協長であり、PTAの町代表でもあった様だ。何処を見ても砂利道ばかり、道路に砂利を敷く

が急速に普及し、家庭電化時代が始まった。

- 初のアルミ貨幣が発行になった。
- マンボスタイル・ボロシャツ等の服装が流行した。
- テレビが衆議院選挙の開票速報を初めて放映した。
- 4月バカが各地で起きた。例えば「鳩山首相が自宅で卒倒した…」など。
- 女性語で「最低ネ」というのが流行した。
- 「ガード下の靴みがき」が流行した。

○鳩山首相が参議院本会議で「軍備を持たない現行憲法には反対である」旨の発言をして問題となった。

○衆参両院で「原子爆禁止を国連と関係各国に要望する決議案」を可決した。

○松本全権、マリク全権とによって行われていた日ソ交渉は領土問題でゆきづまり、無期休会となってしまった。

ソ連政府は直ちに「北洋漁を制限する」と発表した。このため、鳩山首相は病身をおして日ソ交渉再開のためモスクワ入りした。そして、「国交回復に関する共同宣言」と通商航海に関する議定書の調印は行れたが、領土問題は解決には至らないまま、今日に至っている。

○この年の経済白書に「もはや戦後ではない」と記載されたため、これが流行語となった。

○若者の間に太陽族という風俗が生まれ、〈慎太郎刈り〉が流行した。

○全国的に映画館の新築ブームとなった。

のを最も誇りとした時代であった。次に水道局に老人センターの西の松林が売却されたのだった。坪1,050円である。

昭和32年度 関口 正 夫



この頃の区長は市から来た書類を組毎に別けて、常使いという当番に配ってもらうのですが、その作業は座敷一ばいに書類を拡げて

やるので大変でした。また、常使い当番の人は朝8時までに区長の家へ来て、書類を持って組長廻りをするのですが、半日もかかる人、何もなくすぐ帰れる人とまるで宝クジのように当りはずれがあったものです。

この年、農青連（農村青壮年連盟）主催で旧公民館で繭、農産物を、神社で牛、緬羊、山羊、馬の品評会が行われました。このころは麦種の消毒も農青連で実施していました。

そのころの区費は固定資産税割、市民税割見立て割などで各戸の区費を算出して払ってもらうのですが、見立て割には不公平があるとの意見もあり、大変な作業でした。戸数が少なかったからできたようなものの、現在のような大世帯では不可能だったと思います。

昭和33年度 山田 定 治

この年に上水道の工事が始まりました。その当時の東荒牧（国道東）は世帯数が9戸しかなく、費用の面でも大変だったようです。

○相馬が原で薬キョーひろいをしていた農婦が米兵ジラードに射殺された。前橋地裁で懲役3年の判決を下したが、ジラードはアメリカへ向けて離日した。

○石橋湛山内閣が退陣し岸信介内閣が成立した。

○東京の立川基地を砂川町まで拡張することから反対運動が起き、砂川事件となった。このときから「全学連」の学生闘争が始まった。

この当時（昭和30年現在）アメリカ軍基地は全国657ヵ所、4億1千万坪あったといわれる。

○茨城県東海村の原子力研究所の原子炉の運転が開始された。

○このとし「よろめき」という言葉が流行した。

○この年の流行歌では「喜びも悲しみも幾歳月」、「東京のバスガール」、「チャンチキおけさ」、「錆びたナイフ」などがヒットした。

○警察官職務執行法改正案が突然国会に提案された。

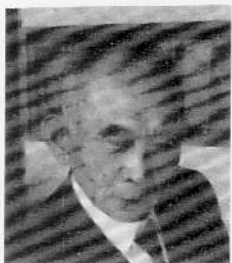
○この年、1万円札が発行になった。



また、このころの子供会長は区長がやっており、子供達を集めて紙芝居をやり、区長が弁士をしたものです。

昭和34年度

都丸健男



昨年に続いて上水道の工事が行れ、完成しました。この年、赤城神社の改修があり、寄付が15,000円米て、割り当てるのに苦労した

ものです。また、この年は子供向けの紙芝居を数回実施しました。

この当時の養蚕農家は66戸で、主として丸登製絲へ繭を売っていたのですが、あちこちへ切り売りする方もあり、これを防止するために22軒がまとまって五十鈴製糸へ売ることになりました。この年の市議会議員選挙で鯨井好一氏が再び当選しました。

昭和35年度

関口金次郎

荒牧山(現在の団地)を労働金庫の中にあった日本労働者住宅協会群馬県支部に売り渡すことになり、歩伸びがあると損をするので実



○皇太子と美智子さんの婚約が発表になった。

○売春防止法が施行になった。

○この年の流行歌でヒットしたもの「有楽町で逢いましょう」、「星は何でも知っている」、「だから言ったじゃないの」

映画「檀山節考」、「隠し砦の3悪人」

○皇太子の結婚によりミッチーブームが起きた。

○民社クラブが結成され、翌年民社党となった。

○東京地裁で砂川事件について「アメリカ軍の駐留は憲法に違反する」という、いわゆる伊達判決が示された。

○1月にNHK教育、2月に日本教育、3月にフジとテレビ局が相次いで開局した。

○この年、「がめつい」という言葉がはやった。

○流行歌は「東京ナイトクラブ」、「南国土佐を後にして」、「黒い花びら」などがはやった。

○日米相互協力および安全保障条約(新安保条約)をめぐり「60年安保闘争」という反対闘争が行れた。

○三井鉱山が6,000人の希望退職による再建案(後に4,580人)を示し、三池争議が始まった。

測したところ逆に6反歩も少なかったのです。結局実測面積で、坪1,500円で売り渡しました。

また、この年は現在の南橋団地を市で造成するため、ここは市へ売り渡しました。

この年、地区の運動会が第1回南橋地区市民運動会と呼ばれました。

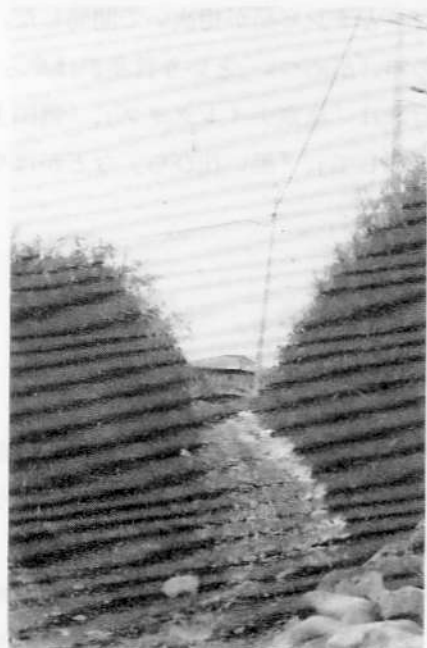
昭和36年度

関口猪三郎



広瀬川の西の耕地整理が終了しました。また、この年に現在の団地の売り出しが始まり、着工する人もおりました。ただ1か所、

今日でも車の通らない道(写真)があります。



131番地付近

○岸内閣が退陣し、第1次池田内閣が成立した。

○この年の流行歌「誰よりも君を愛す」、「潮来笠」、「有難や節」、「月の法善寺横町」、「アカシヤの雨がやむとき」などなど。

○自民党が高度成長、所得倍増などの新政策を発表した。また、池田首相は閣議で「日本はいまや経済大国である」と言明した。

○農業基本法(大規模農業を養成)が成立した。

○この年、石油化学コンビナートの建設が相次ぎ、石炭から石油に切り替えるところが多くなった。このため炭労では「石炭政策転換要求闘争」というものを展開した。

○松川事件の差戻審で全員に無罪判決が言いわたされた。

○上を向いて歩こうで有名になった坂本九が番組の中で「申し訳ない」を数回使ったことから、この言葉が流行になった。また、この年「お分りかな」という言葉も流行になった。

○流行歌は「王将」、「北帰行」、「上を向いて歩こう」など。

○ヒット映画は「不良少年」、「用心棒」、「永遠の人」など。